

## 亥の子谷デイサービスセンター福祉避難所開設訓練視察報告書

### 1 日時

平成30年1月21日（日） 午前9時30分～午前11時

### 2 場所

亥の子谷デイサービスセンター

### 3 想定状況

上町断層帯を震源としたマグニチュード7.5の直下型地震（市全域で震度6強、一部地域で震度7）が発生。

### 4 訓練内容

#### (1) 状況確認及び通報・連絡訓練

施設被災状況及び備蓄物資の確認後、福祉部庶務班へ開設可能である旨、連絡。

#### (2) 移送訓練

受入れ要請のあった要援護者2名及び付添いの家族1名について、移送車両で山三小学校から福祉避難所へ移送。

#### (3) ダンボールベッド設置訓練

移送訓練の間、施設内ではダンボールベッドを設置。施設備品を用いて、ベッドのまわりに仕切りを立てるなど、プライバシーを確保。

#### (4) 要援護者受入れ訓練

吹田市福祉避難所設置・運営マニュアルの避難者台帳（様式2-1）等を用いて、到着した要援護者の受入れ。

#### (5) 炊き出し訓練

近隣の福祉避難所指定施設「特別養護老人ホームいのこの里」にて、豚汁の炊き出しを実施。

### 5 所見

亥の子谷デイサービスセンターは、他の福祉避難所2施設が近隣にあるため、3施設で連携を図った訓練を実施されていました。災害時には、被災状況や避難者数のばらつきにより、福祉避難所を統廃合することがあります。その場合、開設されない施設の職員を、近隣の開設可能な施設へ派遣し、協力して避難所運営をしていただく可能性があるため、近隣施設と日頃から災害発生時に備えて関係を構築しておくことは非常に重要です。そのような意味でも、このたびの訓練は有意義なものとなりました。

市では、次年度以降も引き続き毎年2～3施設ずつ開設訓練を実施する予定です。前年度の課題を踏まえた訓練を実施するため、福祉避難所運営調整会議において情報を共有し、年々訓練の精度を高め、有事に備えてまいります。